

陳 情 文 書 表

令和7年3月定例会

令和7年分陳情第4号

厚生委員会

受理年月日	令和7年2月20日
件名	制度名称を変更することを求める陳情
陳 情 人	
陳 情 要 旨	
[趣旨] 富山市には、「行政苦情オンブズマン」という制度が存在する。しかし、名称が実際の制度にそぐわないと考えられる。そのため名称を変更することを求める。 [理由] 行政苦情オンブズマンとは、市役所の最終判断に異議がある場合に使用する制度であり、手続も異議内容を明確に書面にした上で、受理されるものである。 「苦情」とつくイメージとしては、不平不満を表す言葉として使われることが多いと思うことから、好き勝手に不平不満を受け付ける場所のようにも感じられる。制度は適切に第三者が申請書に基づき、委員が持ち合わせている法的知識や経験、社会通念などを基本に判断されるものである。あくまでも、富山市として最終結論を出した結果の上で、異議がある場合に利用される制度であることから苦情ではなく理論立てた異議という性質が強い制度であると考えられる。 例ではあるが、富山市にも「行政不服申請」という制度がある。これも、富山市が最終結論を出した結果に対し異議がある場合に利用される制度である。 以上のことから、制度の趣旨に沿った名称にすることにより市民は制度を探しやすく、利用できると考えられる。また、富山市としても誤解されるような名称であると説明する手間も増え誰も得をしない結果を生み出しかねない。	